

効果概要: 一般廃棄物処理施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)における浸水・土石流対策として、擁壁の設置、敷地地盤及び機械基礎部分の嵩上げ等を実施し、昭和33年に被災した狩野川台風と同規模の災害が発生した場合でも施設稼働に影響のないよう、施設整備時に対策を行った。

府省庁名: 環境省

■ 実施主体: 伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合

■ 対策の概要:

一級河川狩野川の浸水想定区域に該当するため、敷地地盤高の嵩上げや炉室エリアの基礎を立ち上げるなど、大規模災害発生後にも継続して稼働できるように施設整備を実施した。

- ・敷地地盤高を想定最大水位より2m嵩上げ
- ・炉室エリアの機械基礎を0.2~0.3m立ち上げ

■ 事業費: 約107億円

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約27億円)

■ その他:

本地域は土砂災害特別警戒区域に指定されており、昭和33年の狩野川台風では、事業実施個所の山側が崩壊し、大規模な土砂災害が発生した。そのため、土石流対策擁壁を設けることにより、狩野川台風と同規模の災害が発生した場合でも施設稼働に影響のないよう対策をとったことにより、計画どおり一般廃棄物を処理することが期待される。



狩野川洪水浸水想定に対応した敷地地盤高のかさあげ状況



土石流対策擁護壁 L=104m